

学校再編の状況について

1. 乙立小・朝山小の状況について

(1) みなみ小学校 校歌

【作詞】 花田敦子さん (出雲市天神町在住 元教員)

【作曲】 米山道雄さん (出雲市中野美保北在住 出雲芸術アカデミー学長)

- | | | |
|---|---|--|
| 1 | 流れゆたかな 神戸川
ほとりに高き 学舎で
みなみ みなみ みなみの子 | 神代の水に 四季うつす
心かしい 子になろう
手をとり合って 学ぼうよ |
| 2 | 立久恵峡の 空澄みて
おしへの庭に はればれと
みなみ みなみ みなみの子 | 歴史も古い 六神山(ろくしんざん)
心やさしい 子になろう
ふるさとづくり 学ぼうよ |
| 3 | 山のみどりは うらうらと
光にみちた 学舎で
みなみ みなみ みなみの子 | 吹きゆく風は さわやかに
心のつよい 子になろう
未来をめざし 学ぼうよ |

(2) みなみ小学校 校章

乙立地域及び朝山地域で公募し、応募総数 36 点の中から再編統合推進委員会において 4 点を選考しました。

その中から、原案を基にデザイン化し、次のとおり決定しました。



【校章デザインの説明】

清涼な空気と神戸川の清流をイメージさせるブルーを基調に、ダイナミックな躍動感を感じさせるデザインとした。

外周の二つの形態は、鮎をモチーフとし、朝山と乙立の子どもらが仲良く学ぶ様子を表現した。右側の太めな方は川で成長した鮎、左側の細めな方は海から遡ってくる若鮎である。

中央上部の鋭角な 3 個の三角形は、小学校の「小」の文字であり、また朝山の「山」の文字や、立久恵峡にそびえる切り立った奇岩でもある。

その下には、滔々(とうとう)と、またゆったりと流れる神戸川の清流がある。

鮎は、秋に下流で産卵し、孵化した稚魚は海岸の近くで冬を過ごして成長し、春になると川を遡ってくる。川底の苔を食べて成長し、秋になり成長した鮎はまた川を下り産卵をして一生を終える。

子どもたちの成長に郷土の存在は欠かせない大切なものである。

子どもたちが成長し、また郷土に帰ってきて活躍してほしいという気持ちを込めた。

(3) スクールバスの運行経路



(4) 乙立小学校閉校式 平成31年3月24日(日)

【児童数】乙立小(21人)、朝山小(79人)

(※児童数は、平成30年12月3日現在の人数)

2. 塩津小・北浜小の状況について

(1) 検討の状況

平成30年12月13日に第2回再編統合推進委員会を開催し、PTAの組織運営、地域学校運営理事会及び後援会について、新会則を確認しました。

(2) 塩津小閉校式 平成31年3月23日(土)

【児童数】塩津小(6人)、北浜小(23人)

3. 国富小・西田小・鰐淵小・北浜小・塩津小の状況について

平成30年11月16日の第2回再編統合推進委員会において、新設校の建設候補地（国富町地内）と整備スケジュールを決定しました。その後、地権者の方々に説明し、概ねご理解が得られる見込みとなりました。

(1) 建設候補地について



(2) 整備スケジュールについて

◆平田4地区統合小学校 整備スケジュール

事業内容	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)	2021年度 (平成33年度)	2022年度 (平成34年度)	2023年度 (平成35年度)
測量・造成設計	←→				
用地取得		←→			
造成工事			←→		
校舎・屋体実施設計			←→		
校舎・屋体建設				←→	
校庭整備					←→

2024年度
(平成36年度)
開校

【児童数】国富小（179人）、西田小（58人）、鰐淵小（36人）、北浜小（23人）
塩津小（6人）

4. 檜山小・東小の状況について

現在、造成工事を進めており、予定どおり今年度末までに完了する見込みです。

平成31～32年度には建設工事、外構工事等を行い、平成33年4月に開校の予定です。

◆檜山・東統合小学校 整備スケジュール

事業内容	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度 (平成32年度)
測量・造成設計(済)			
用地取得(済)			
造成工事	←→		
校舎・屋体実施設計	←→		
校舎・屋体建設		←→	
校庭整備			←→

2021年度
(平成33年度)
開校

【児童数】檜山小（71人）、東小（128人）